様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　６年　６月　２１日

大阪市長　　殿

提出者

住所　大阪市此花区島屋５丁目１番１０９号

氏名　日本製鉄株式会社 関西製鉄所

副所長　髙　岡　　純　一

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０６－６４６６－６１２８

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本製鉄株式会社 関西製鉄所 製鋼所地区
事業場の所在地	大阪市此花区島屋５丁目１番１０９号
計画期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	製品出荷額　：　８７，８９８百万円
③従業員数	１，２５１　人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙（Ａ～Ｆ）のとおり

（日本工業規格　Ａ列４番）

第2面凝集沈殿排水処理工程

（第2面－1）

（第2面－2）

（第2面

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（　４年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）	③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
排　出　量	3618.9　t	1068.2　t	153.6　t	0.0　t	360.8　t	55.9　t	3.5　t	278.7　t

（これまでに実施した取組）

・鍛造工程における鍛造機潤滑グリス使用量の適正化を行い廃棄物発生量の減量化を行った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）	③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
排　出　量	3438.0　t	1014.7　t	146.0　t	0　t	342.7　t	53.1　t	3.3155　t	264.7　t

（今後実施する予定の取組）

・製鋼用電気炉にて使用する石灰等の副原料使用量について品種毎の投入量を標準化する事でスラグ発生量の削減を行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・構内分別容器に関するパトロールを定期的に行い、分別管理の徹底を行っている。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・上記分別パトロールを引き続き実施。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

②計画

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

②計画

第2面凝集沈殿排水処理工程

ii－3）

（第2面－4）

（第2面－5）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類	0	0
0.0 t	34.1 t	2561.6 t	6263.0 t	445.1 t	0.6 t	0.0 t	2.4 t	0.0 t	0.0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類	0	0
0.0 t	32.4 t	2433.5 t	5949.9 t	422.8 t	0.6 t	0.0 t	2.2705 t	0 t	0 t

②計画

②計画

第3面凝集沈殿排水処理工程

（第3面－1）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（　4年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・製鋼工程より発生するスラグについて、性状が良い物を選別する事で、再度製鋼工程の副原料化を図った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

・製鋼工程にて再利用しているスラグについて、１度に再利用する量について増加するための検討を行う。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（　4年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	961.3 t

（これまでに実施した取組）

・事業所内排水処理より発生する汚泥について、蒸気による加温式のスクリュープレスに更新を行い、含水率の低下を図った。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	961.3 t

（今後実施する予定の取組）

・上記脱水機の脱水率の定期管理を行う事で、脱水機の安定稼働を行う。

（第3面－2）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0.00 t	0 t

②計画

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

（第3面

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t

②計画

⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t
0 t	0 t

②計画

⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t
0 t	0 t

第3面凝集沈殿排水処理工程

（第3面－3）

（第3面－4）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	569 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

②計画

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	625.9 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

（第3面－5）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

②計画

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

②計画

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

②計画

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t		

第4面凝集沈殿排水処理工程

（第4面－1）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（　4年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・当事業所では自社埋立・海洋投入は行っていない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）

・今後も当事業所では自社埋立・海洋投入を予定していない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（　4年度）実績】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）
全処理委託量	3618.9 t	106.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	0 t	106.8 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3618.9 t	0 t

（これまでに実施した取組）

・定期的に処理状況の現地確認を行っている。
・再利用業者委託の推進
　①製品製造工程より発生する廃溶剤等について、蒸留再生を行っている産廃業者に処理委託。
　②製品梱包より発生する廃パレットについて、バイオエタノール化処理を行っている産廃業者に処理委託。　　等

（第4面－2）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)	⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)
153.6 t	0 t	360.8 t	55.89 t	3.49 t	278.7 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	3.49 t	278.7 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
153.6 t	0 t	360.8 t	55.89 t	0 t	0 t

（第4面

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分

①現状

②計画

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

第4面凝集沈殿排水処理工程

（第4面－3）

分に関する事項

（第4面－4）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

（第4面－5）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類	#REF!	#REF!
0 t	0 t	t	t

②計画

⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類	#REF!	#REF!
0 t	0 t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)	⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）
0 t	34.1 t	2561.6 t	5694 t	445.1 t	0.6 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0.6 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類	#REF!	#REF!
0.0 t	2.39 t	t	t
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	t
0 t	0 t	t	t
0.0 t	2.39 t	t	t

第5面凝集沈殿排水処理工程

（第5面－1）

（第5面

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	①汚泥（その他<含油汚泥>）	②汚泥（下水汚泥<排水汚泥>）	③廃油（一般廃油）	④廃酸(廃硫酸等)
全処理委託量	3438.0 t	101.5 t	146.0 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	101.5 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	3438.0 t	0.0 t	146.0 t	0.0 t

（今後実施する予定の取組）

・今後も継続的に委託業者への現地確認を行っていく。

※事務処理欄

第5面凝集沈殿排水処理工程

五－2)　　(第5面－3)

②計画

⑤廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他）	⑥廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（その他粗大品）	⑦廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類（廃タイヤ）	⑧その他の木くず(木くず)	⑨ガラスくず等(ガラスくず)	⑩ガラスくず等(陶磁器くず<砥石屑>)
342.7　t	53.1　t	3.3　t	264.7　t	0.0　t	32.4　t
0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
0.0　t	0.0　t	3.3　t	264.7　t	0.0　t	0.0　t
0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
342.7　t	53.1　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t

第5面凝集沈殿排水処理工程

（第5面－4）

②計画

⑪鉱さい（造塊屑）	⑫鉱さい（スラグ）	⑬ばいじん（ダスト）	⑭廃電気機械器具（蛍光灯）	⑮廃アルカリ（その他廃アルカリ）	⑯廃電池類
2433.5　t	5409.3　t	422.8　t	0.6　t	0.0　t	2.3　t
0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
0.0　t	0.6　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t
0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	0.0　t	2.3　t

（第5面

②計画

第5面凝集沈殿排水処理工程

ﾗﾛ－5)

#REF!	#REF!
t	t
t	t
t	t
t	t
t	t

（第６面）

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

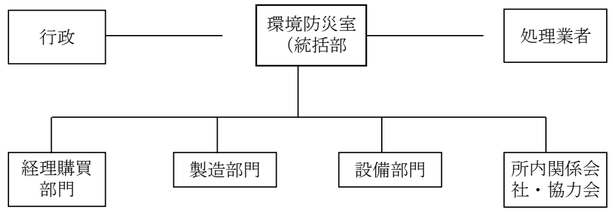
6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別　紙

日本製鉄株式会社 関西製鉄所

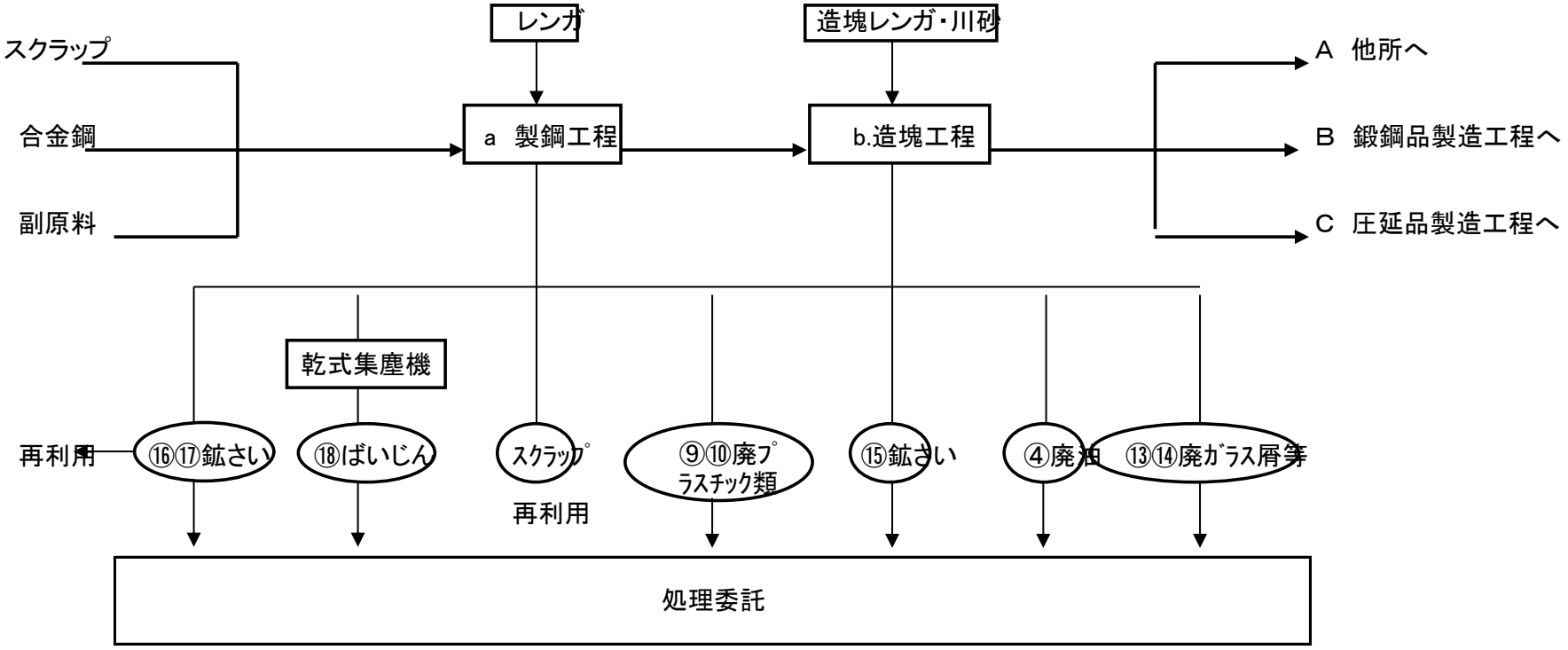
廃棄物管理組織図



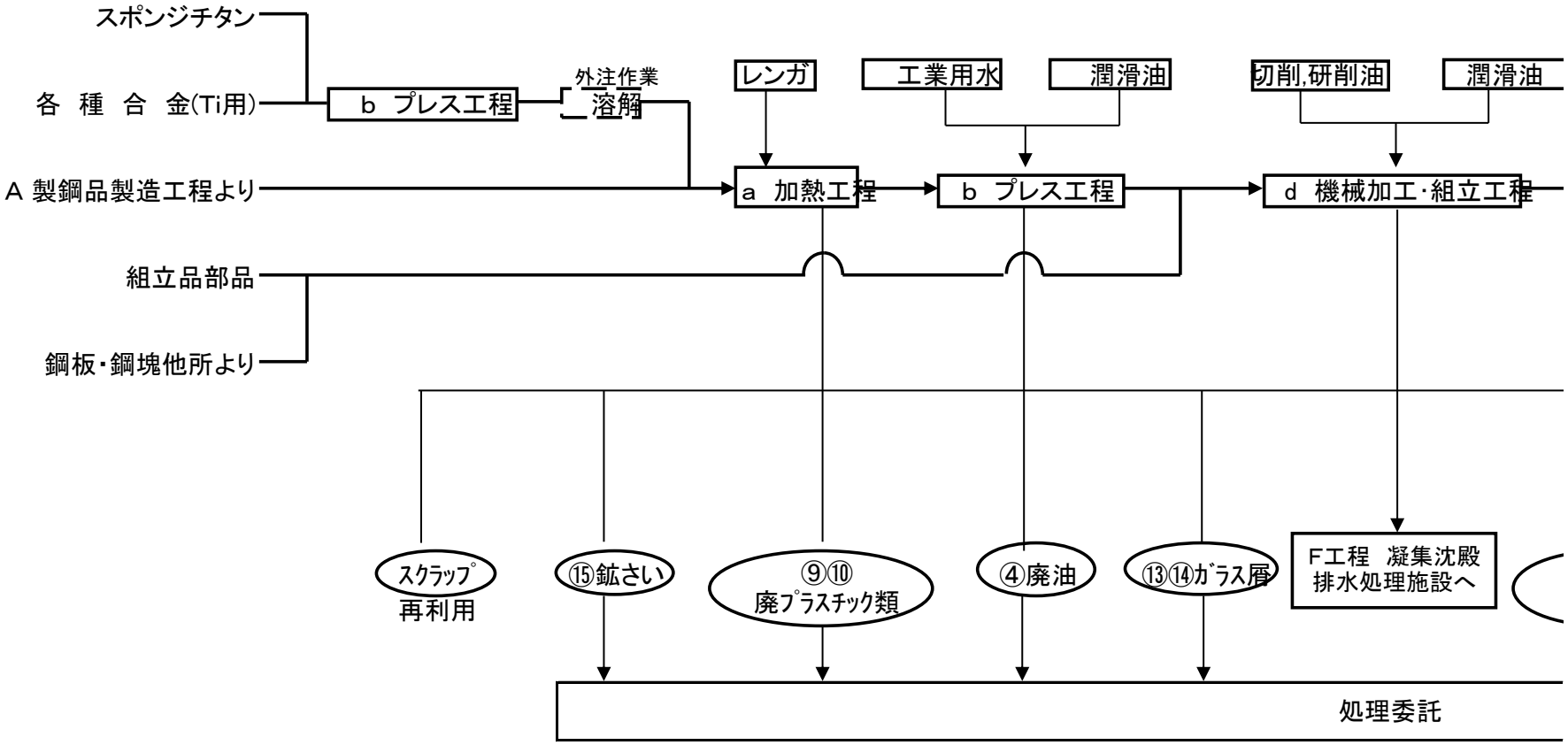
部　　署	役　　割
環境防災室 （統括部署）	１．産業廃棄物発生から処分に関する帳簿を作成し、把握管理 ２．産業廃棄物の発生工程、種類毎の量、集計等 ３．処理施設（所内外）の定期的査察 ４．行政報告 ５．処理・収集運搬業者との契約（副）、委託量、ﾏﾆﾌｪｽﾄ管理 ６．産業廃棄物の適正管理及び減量化に関する所内啓発 ７．廃棄物処理に関するﾘｻｲｸﾙ利用及び委託先の開拓 ８．産業廃棄物の分析による性状把握
経理購買部門	１．産業廃棄物の適正処理費用の算出 ２．産業廃棄物委託料金の支払いに関する業務管理 ３．処理・収集運搬業者との契約業務（主）
製造部門	１．製造工程より発生する産業廃棄物の発生管理 ２．統括部署への情報提供
設備部門	１．製造工程の修理により発生する産業廃棄物の発生管理 ２．統括部署への情報提供
所内関係会社 協力会社	１．製造工程より発生する産業廃棄物の発生管理 ２．統括部署への情報提供 ※製造工程内にて作業を行う関係会社・協力会社

A凝集沈殿排水処理工程

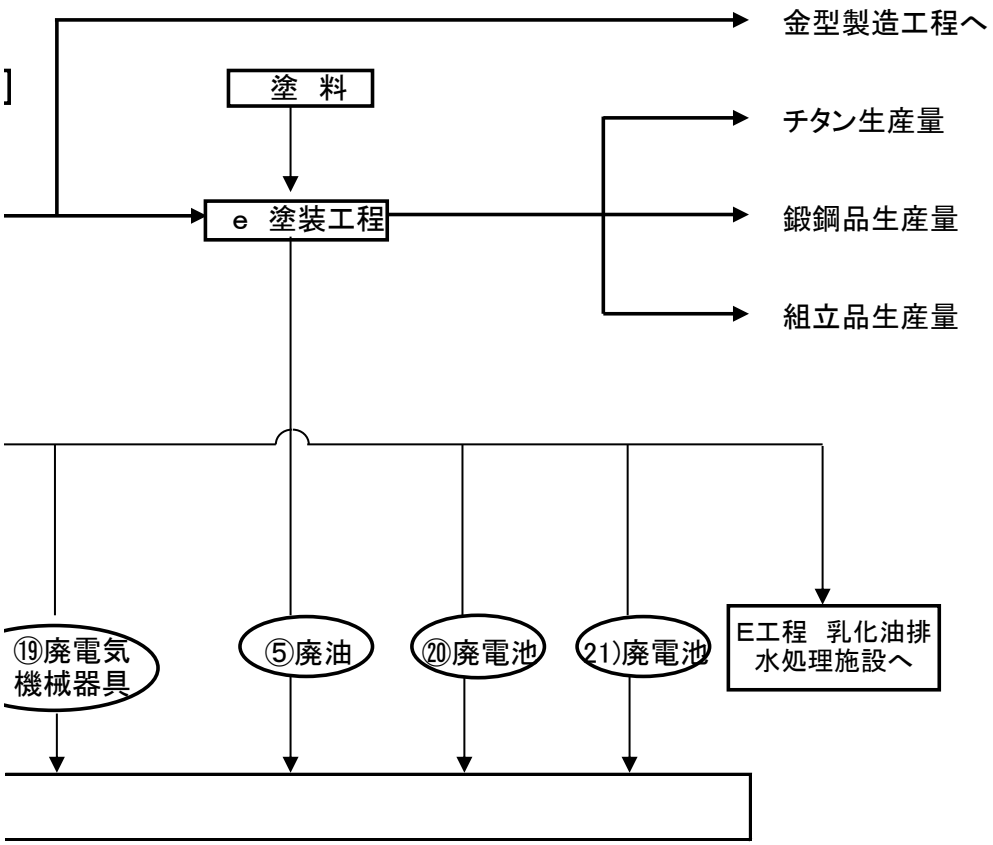
A製鋼品製造工程



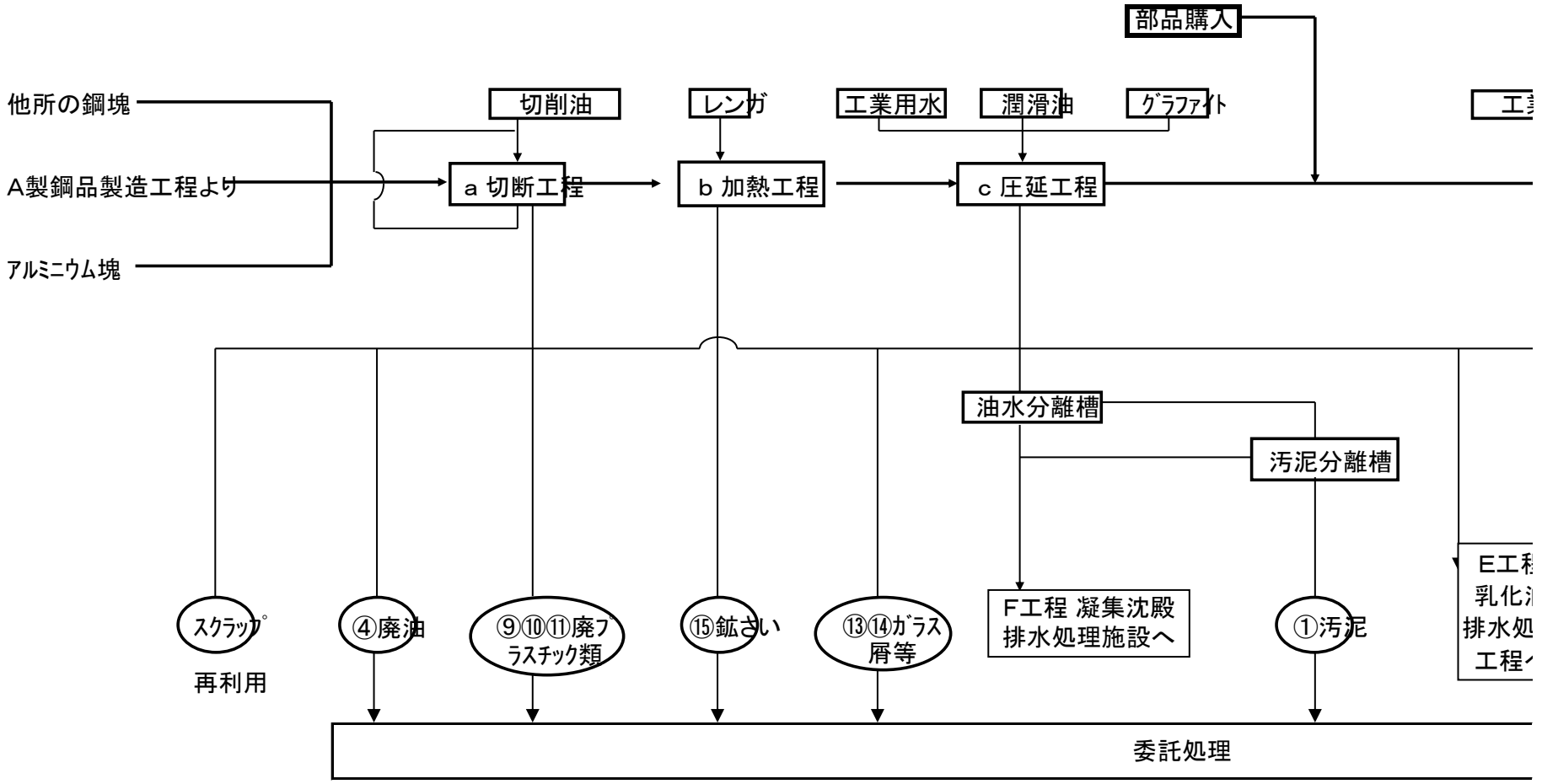
B凝集沈殿排水処理工程



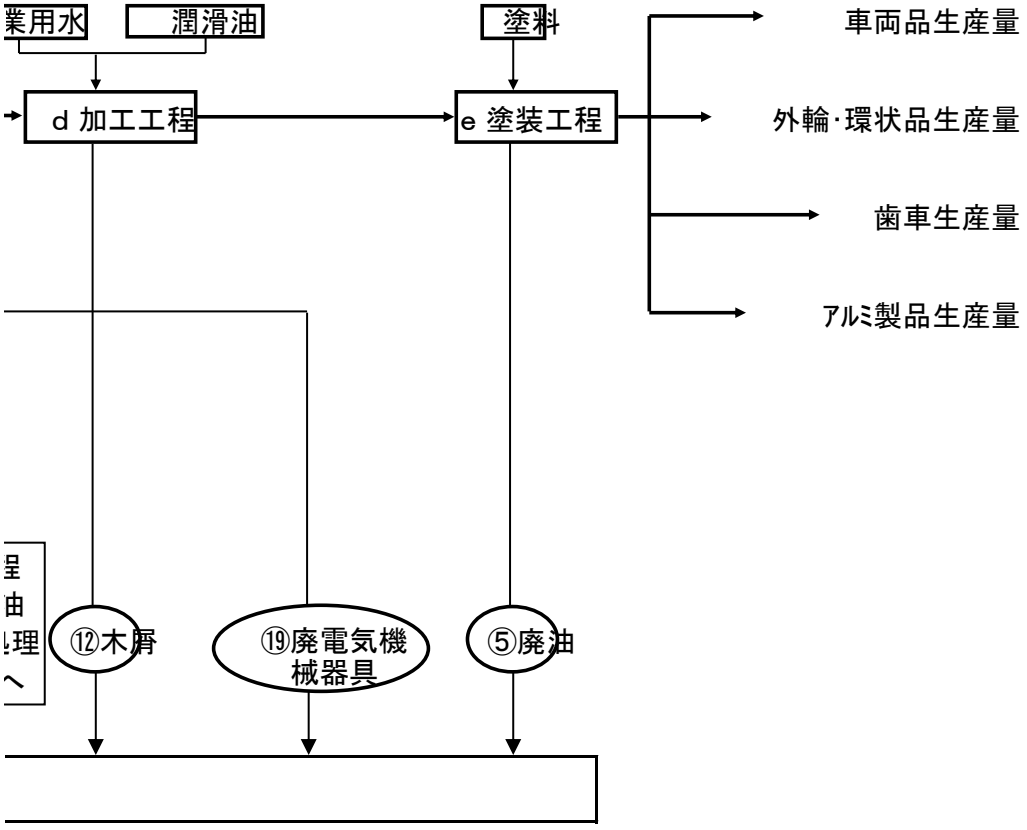
B凝集沈殿排水処理工程



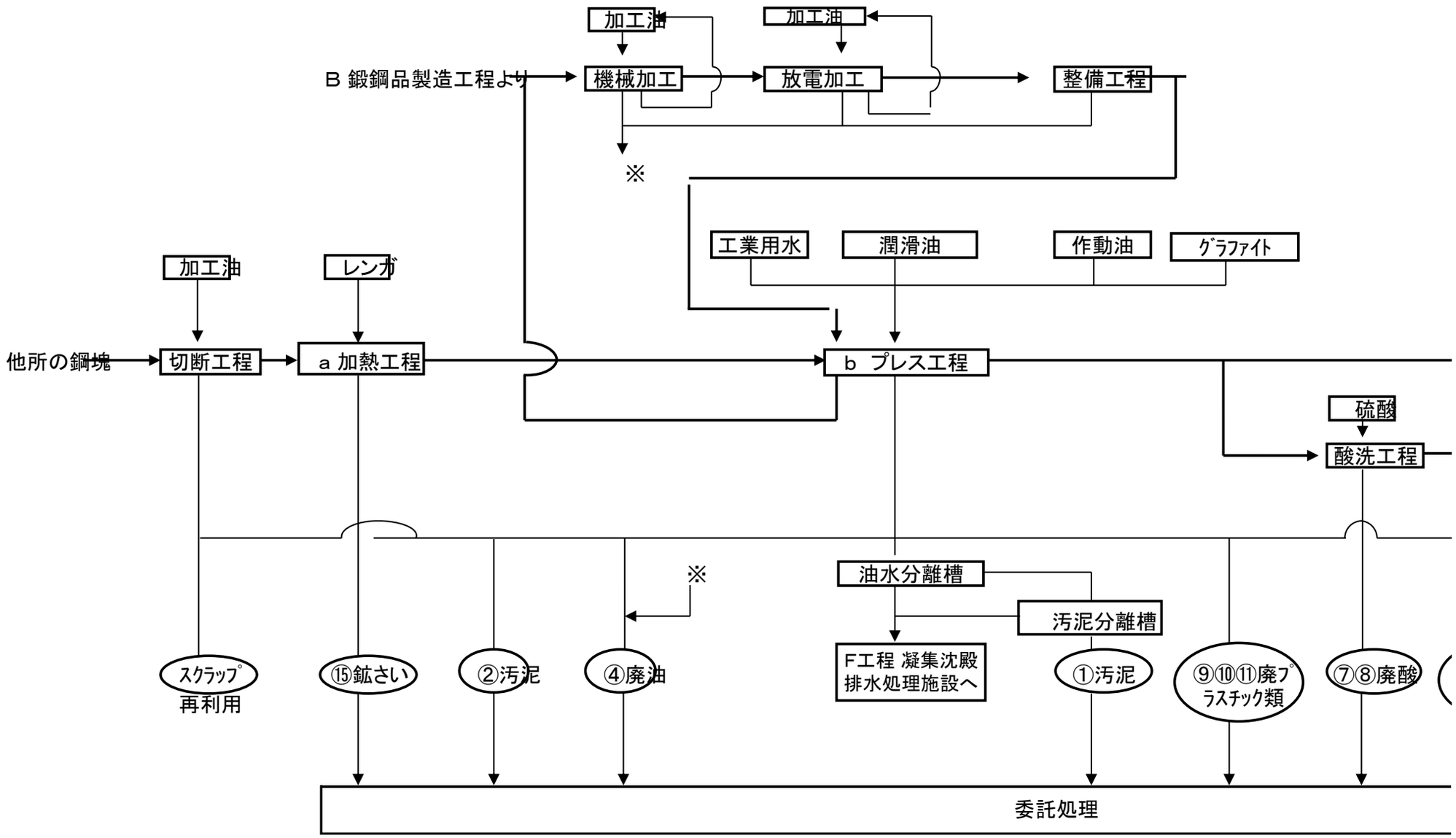
C凝集沈殿排水処理工程



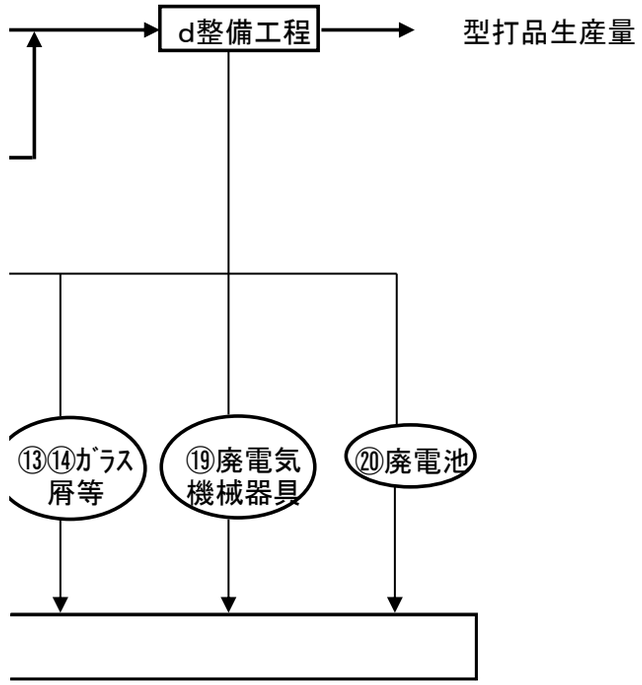
C凝集沈殿排水処理工程



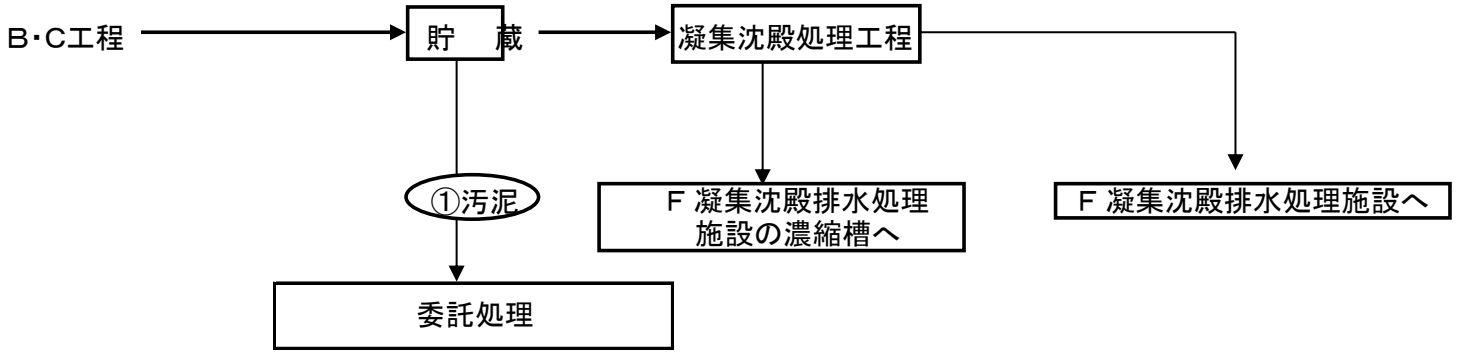
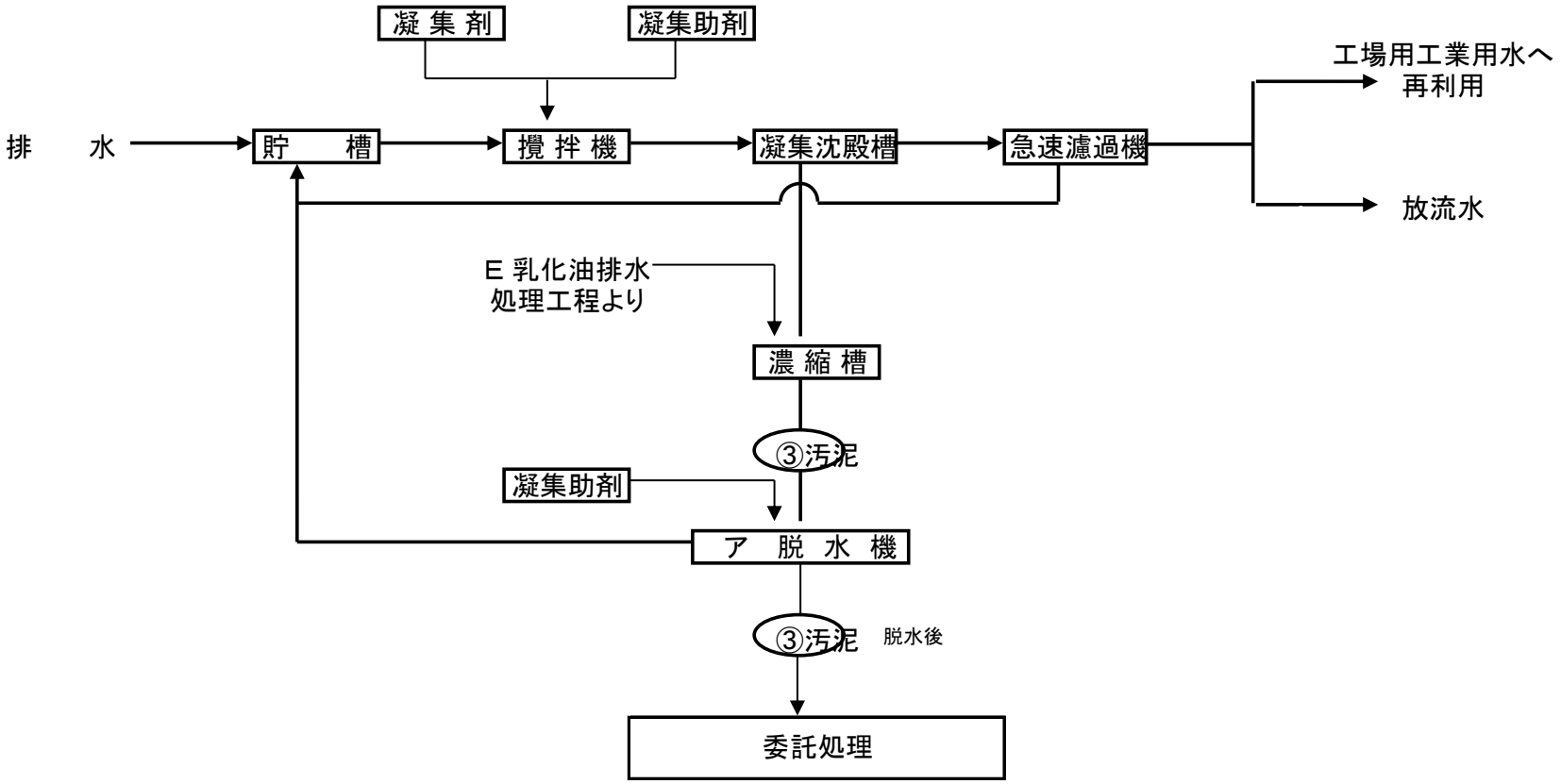
D凝集沈殿排水処理工程



D凝集沈殿排水処理工程



E凝集沈殿排水処理工程



F凝集沈殿排水処理工程